

一般質問

一般質問 兎澤祐一議員（鹿真会・公明）

問 今後の高齢者単身世帯への支援策は。

答 日常生活を支援する軽度生活援助サービス、地域でのわいわいランチ活動、冬期間の住宅除排雪支援事業、地域包括支援センターによる訪問など、きめ細やかに支援していく。



これからの介護について

問 高齢化と共に認知症の割合も増加すると考えられるが、今後の対策は。

答 認知症サポーター養成講座や認知症カフェ、県内初のスロースポッピング等のほか、認知症高齢者見守り事業や、市内106か所の事業所との協定締結による高齢者等見守りネットワーク推進事業に取り組んでおり、今後も地域での見守り活動の拡大に力を入れていく。

また、認知症基本法

の基本理念を踏まえ、

市民が認知症を正しく理解し、地域で温かく見守る体制を構築し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「やさしい地域づくり」を目指す。

骨髄バンクドナーの継続的確保に向けた取り組みについて

問 造血幹細胞移植に対する市民の理解を深める施策について、市の取り組みは。

答 骨髄バンクの主な窓口は県内各保健所等であり、市は関係機関と連携し、ポスター掲示やパンフレット設置・配布のほか、ドナー登録の窓口となる市内巡回献血を推進するなど周知に取り組む。

質問した項目

■2025年問題について ■これからの介護について ■骨髄バンクドナーの継続的確保に向けた取り組みについて ■災害時における避難所対応等について（スフィア基準に基づく対応について）ほか



録画配信はこちらから

兎澤 祐一 議員（鹿真会・公明）

質問時間 60分

湯瀬 弘充 議員（新時代かづの）

質問時間 30分

質問した項目

■市長の方針について ■災害対策について ■空き家対策について ■廃校や利用の少ない施設の利活用について

災害対策について

問 消防団が災害活動時に使用する手袋やヘッドライト、防寒具、防煙マスクなどの装備が不十分であり、定期的な支給が望まれる。また、消防出初め式における服装の見直しを求めるが、市の見解は。

答 装備品の整備を計画的に進めており、現在更新中の高視認性活動服・雨具の整備とともに、出初め式での服装の見直しを検討していく。防護マスクについては導入に向



廃校や利用の少ない施設の利活用について

問 「冬季や悪天候時に子供たちが安心して遊べる屋内施設があるが、廃校を改修して整備できないか。

答 鹿角市こども計画策定にあたり実施したアンケート調査や子ども・子育て会議においても、子供の遊び場を望む声が多数ある。どのような遊び場が必要とされているか、子育て世代が重視する点を把握するとともに、既存施設とのすみ分けを整理し、令和11年度までの計画期間中に検討を進めていく。



録画配信はこちらから

一般質問 湯瀬弘充議員（新時代かづの）